

令和4年度
食品廃棄ゼロエリア創出の推進モデル事業等

「地域とともに実現する食品廃棄ゼロエリアプロジェクト」

～最終報告～

最終報告

1. 「地域とともに実現する食品廃棄ゼロエリアプロジェクト」成果概要

2. 川西モデル

3. アンケート結果 関連イメージ

4. 川西モデル発展イメージ

参考.プロジェクトパートナー、リリース一覧

1. 「地域とともに実現する食品廃棄ゼロエリアプロジェクト」成果概要

	①ゼロループ構築プロジェクト 主に、食品スーパーで出る食品廃棄物を堆肥化し、農産物を栽培、店舗に戻すループ構築	②機運醸成プロジェクト 購買行動の意義を考え、変容につながる取り組み
評価	○	◎
成果	回収実施日 49日間 の食品廃棄ゼロ達成 合計 5,119kg の食品廃棄物を 堆肥化	●地域の小中学生を対象とした、食品ロス削減に関するアイデアコンテストを実施し、22名が参加 表彰イベントを大阪市の阪急うめだ本店にて執り行い、広く情報発信（プレスリリース） ●コンポストバッグによる住民参加型の運動「チャレンジデイズ」を展開し、38名が参加（同居家族を含む関係人口115名）。取り組みにおけるコミュニケーションを通じて、廃棄削減に加えて、ループ作物への関心喚起 ●地域住民との対話を行うタウンミーティングを実施し、住民30名の食品ロスへの理解を深められた ●webサイトやSNSでの情報発信を行い、広報活動を実施 フィードバックの一つとして、有効回答88名分の意識調査データ取得
課題	▶経済性の確保。自律的に循環する仕組みの構築 ●排出抑制（アップサイクルの可能性検討） ●堆肥の品質・需給（ストック、近接エリアでの活用） ●栽培作物の選択、作物の活用（二次加工等）およびブランディング ●適正な規模感の検証	▶実施規模の拡大のための情報発信強化 ●コンテストの参加人数拡大（Z世代の巻き込み） ●「チャレンジデイズ」に地域の小学校・保育園の巻き込み ●学びとエンターテインメント性を掛け合わせた対話の場づくり ▶意識調査のデータ数拡大 ●88名の回答を基にした仮説構築、データ拡大による検証に課題
	▶「両プロジェクトの連携向上」 初年度は多数の事業を手探りで実施したため、連携が弱かった点が課題。 住民意識の向上から、ゼロループへの連携を高められるための対策を検討する必要性が明らかになった。 ●行動変容モデルをもとに取り組みをモデル化 ●コンポストを通して取り組みから、「楽しさにつながる体験」が大きく行動変容・意識変容につながる ●アンケートの結果からの相関	

2. 川西モデル

両プロジェクトの連携向上について

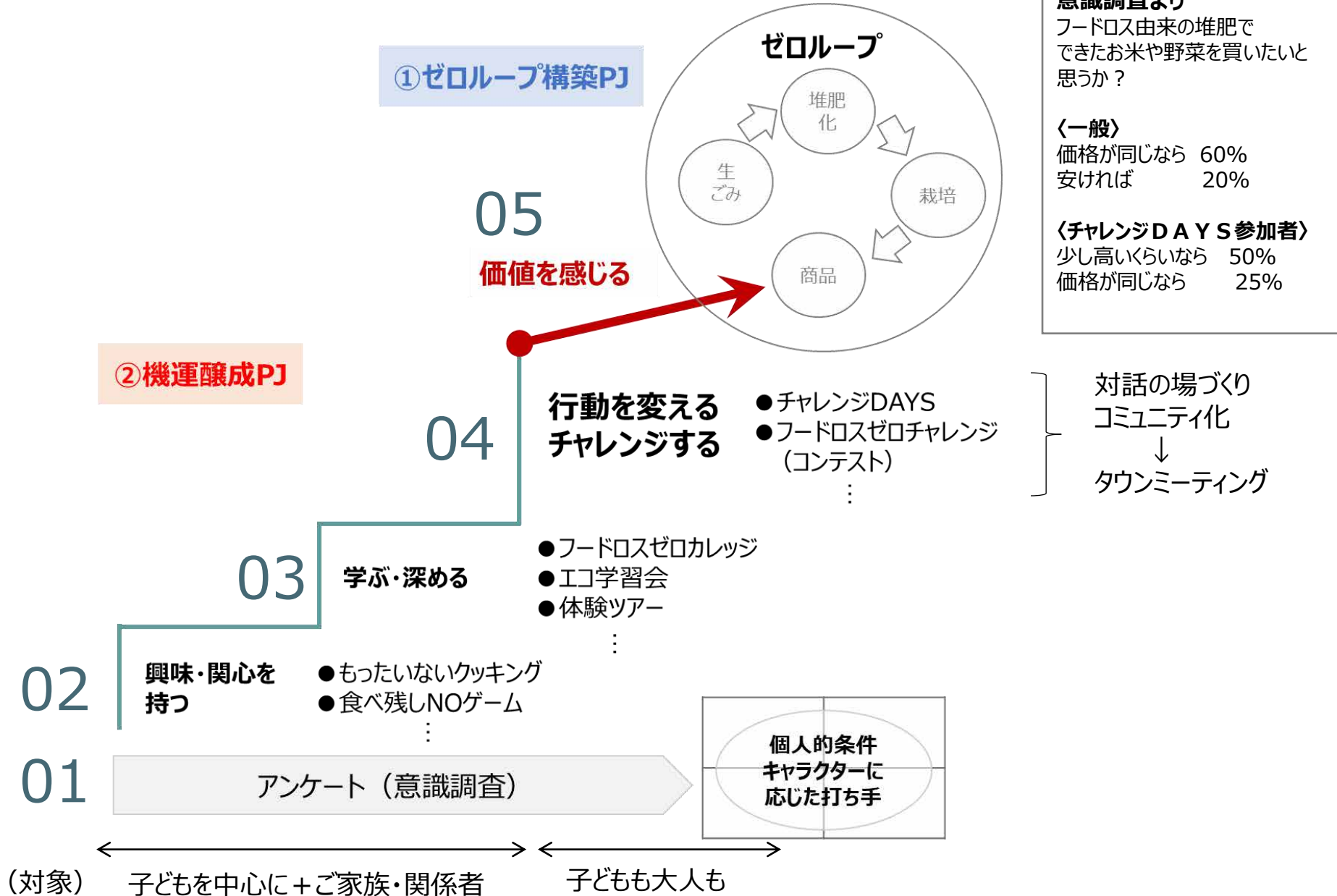
- ・ゼロループ構築PJ と 機運醸成PJ は不可分なもの
- ・ゼロループの経済性を成立させるため、まずそのような過程で栽培された野菜やお米に関心がある、買いたいという価値観を醸成する必要がある
- ・行動変容ステージモデルにあてはめ整理

行動変容ステージモデル

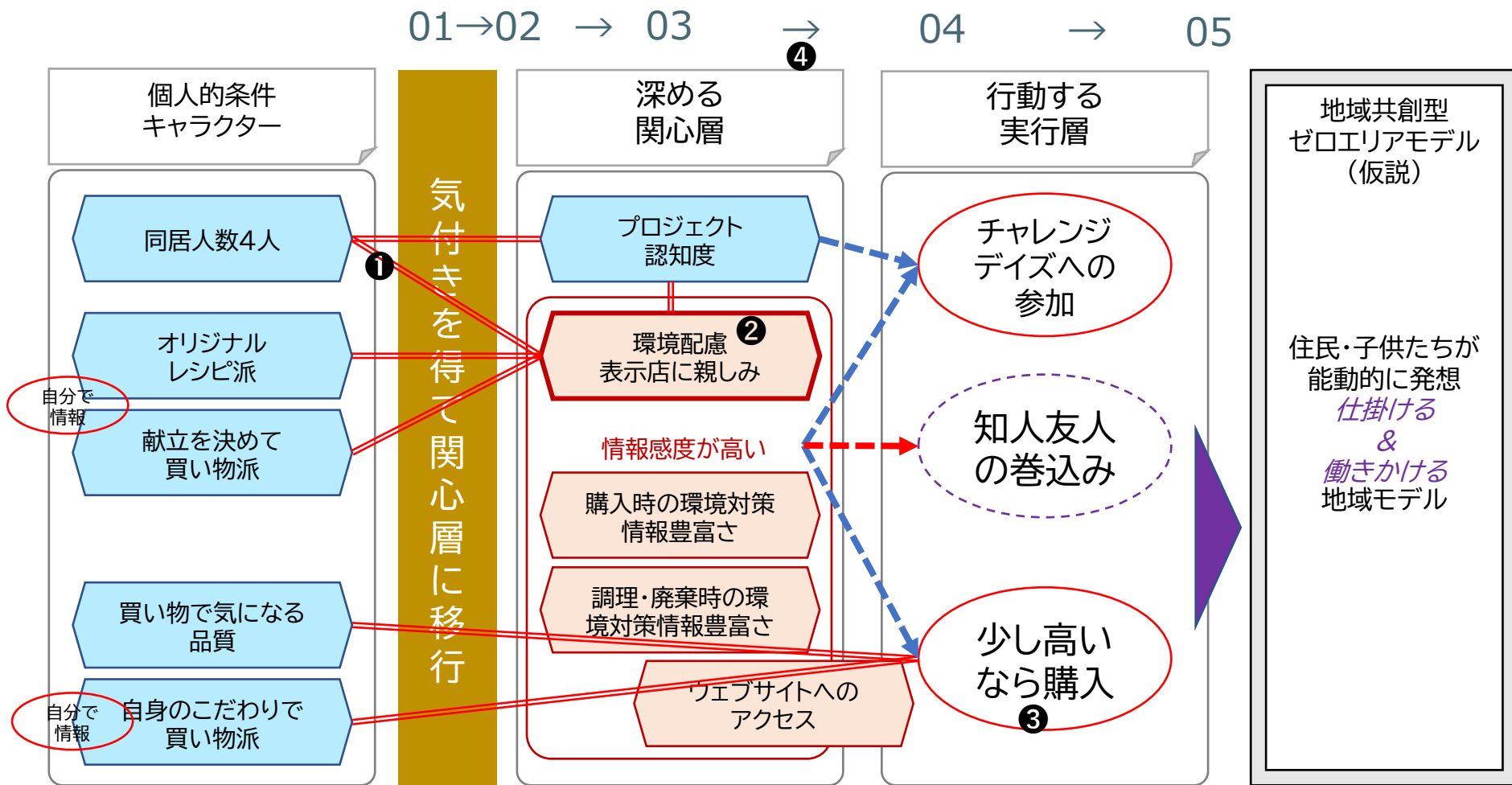
Transtheoretical Model of Behavior Change



2. 川西モデル



3.アンケート結果 関連イメージ

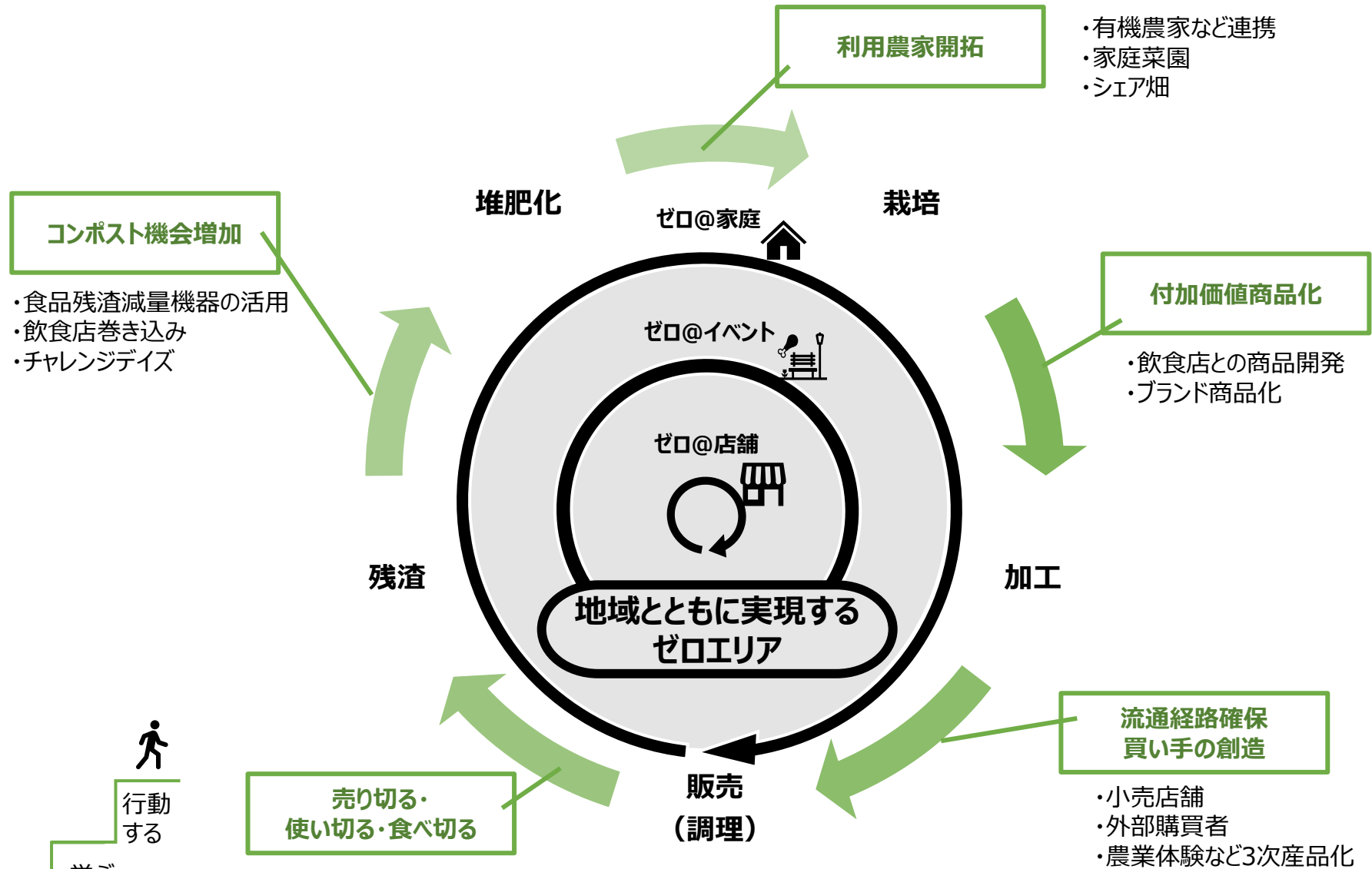


〈仮説と今後の検証課題〉

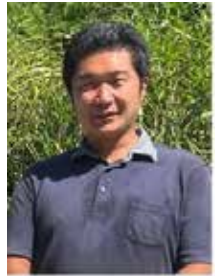
03深める、04行動する層と親和性が高そうな個人的条件は、4人家族(≡子育て世帯)や自分で情報収集をする層

- ①子どもがいる家庭の感度が高くなるプロセス
- ②環境配慮表示店舗への反応の測定
- ③価格以外の商品選択軸
- ④関心から実行に移行するキーファクター

4. 川西モデル発展イメージ



プロジェクトパートナー・問い合わせ先



合同会社ディスコント



大阪公立大学
千葉准教授



大手前大学
坂倉准教授

兵庫県川西市

NPO法人 Deeppeople
Change the world with design
NPO法人 Deeppeople



エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社



エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

兵庫県川西市

大手前大学 坂倉研究室

大阪公立大学 千葉研究室

合同会社ディスコント

特定非営利活動法人DeepPeople

問い合わせ先

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社
経営企画室サステナビリティ推進部
西田・高橋
sustainability@h2o-retailing.co.jp

リリース一覧・問い合わせ先

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社による本プロジェクト関連リリース一覧

2022年6月30日「「地域とともに実現する食品廃棄ゼロエリアプロジェクト」スタート！」

https://data.swcms.net/file/h2o-retailing/ja/news/auto_20220630592680/pdfFile.pdf

2022年11月30日「小中学生対象「フードロスゼロチャレンジ2022」を初開催 グランプリなど6組を表彰しました」

https://data.swcms.net/file/h2o-retailing/ja/news/auto_20221130572808/pdfFile.pdf

2022年12月14日「家庭用コンポストバッグでつくった堆肥で地域の花壇整備 「地域とともに実現する食品廃棄ゼロエリアプロジェクト」で」

https://data.swcms.net/file/h2o-retailing/ja/news/auto_20221214578320/pdfFile.pdf

2022年12月16日「フードロス0カレッジを開講！」

https://data.swcms.net/file/h2o-retailing/ja/news/auto_20221216579728/pdfFile.pdf

統合レポート2022 巻頭特集P.04 川西は「食品廃棄ゼロエリア」になれるか。実証実験1年目。

https://www.h2o-retailing.co.jp/ja/ir/library/report/main/011/teaserItems2/00/linkList/00/link/IntegratedReport_all_print_.pdf

問い合わせ先

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社
経営企画室サステナビリティ推進部
西田・高橋
sustainability@h2o-retailing.co.jp